

第2回

福井市地域生活交通活性化会議

次 第

1. 福井市地域公共交通計画骨子案について

- (1) 交通まちづくりの方針
- (2) 計画の方針
- (3) 対象区域
- (4) 計画期間
- (5) 計画の対象
- (6) 計画目標と評価指標の設定
- (7) 計画の目標を達成するために行う施策
- (8) 計画の達成状況の評価に関する事項（計画の推進体制、計画の進行管理）

2. 今後のスケジュール（案）について

令和5年8月23日

(1) 交通まちづくりの方針(第2次都市交通戦略で定めた将来都市像)

人にやさしい「全域交通ネットワーク」と にぎわいとやすらぎの「まちづくり」

地域をつなぎ、お年寄りや子ども、学生などだれもが手軽に利用できる、人にやさしく便利な市内全域の交通ネットワークをつくり上げます。

地域の良さを活かした個性的で文化とにぎわいにあふれ、豊かで美しい自然環境を活かしたやすらぎのあるまちづくりを進めます。

行政が進行役となり、交通事業者との連携と市民の参画により、交通とまちづくりが相互に連携した持続可能な都市を目指します。

第2次都市交通戦略で定めた将来都市像に沿って、福井市都市計画マスタープランで掲げている『暮らしの豊かさを実感できる「歩きたくなる」まち』の理念のもと、自動車に頼りすぎない「全域交通ネットワーク」を構築し、集約型都市構造への転換を目指す。そのため、魅力あるサービスやにぎわいにあふれる市街地、豊かで美しい自然環境を活かした農山漁村部などの地域特性を活かしながら、市域を構成する各地域における日常の生活圏の中心となる各地域拠点への必要な生活サービス機能の集約等によるまちづくりを進めるとともに、中心市街地と地域拠点、及びその周辺を結ぶ公共交通の利便性向上を図り、ネットワーク化を進める。

また、実現に向けては、住民の方と一緒に考えて、役割分担しながら、集約型の都市構造に対応した持続可能な交通を維持・確保していく。

(2) 計画の方針

「地域をつなぐ「全域交通ネットワーク」づくり」

暮らしをつなぎ支えるモビリティ・ネットワークの構築

6方向の公共交通幹線軸の持続的な維持と、拠点の形成に伴う公共交通資源の充実を踏まえた上で、様々な移動手段、交通サービスの連携により、『行きたいところにスムーズに行ける』というモビリティ(移動のしやすさ)を支える環境をつくります。

各地域拠点の特性に応じた日常生活に必要な機能の集約と地域との協働による必要性に応じたフィーダー交通等の提供により、地域を支え、地域をつなぐ「全域交通ネットワーク」を実現します。目的や利用者のニーズに応じて自家用車や公共交通、自転車、徒歩を選択して移動することができる、自動車に頼りすぎない「全域交通ネットワーク」づくりを進めるため、だれもが利用でき、選択性のある都市交通の利用環境を目指すとともに、自動車による移動が中心の暮らしの中で、移動手段を自動車交通から公共交通へ緩やかにシフトしていきます。

第2次都市交通戦略で定めた目指すべき都市交通の目標を実現するために、策定後の変化を踏まえた福井市地域公共交通計画の施策パッケージを設定します。

また、北陸新幹線の福井開業後に対応する施策パッケージを追加します。

1. 福井市地域公共交通計画骨子案について

(2) 計画の方針

選択性のある
都市交通利用環境の構築

拠点への機能の集積と
モビリティの改善による
持続可能な地域の形成

公共交通機関の
シームレス化の推進

新幹線開業後の変化を踏
まえた公共交通の推進

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ

新幹線開業を踏まえた
施策パッケージ

選択性のある都市交通利用環境の構築

電車、バス、タクシー、フィーダー交通、自家用車、自転車といった様々な移動手段がネットワーク化され、移動の目的に応じて、それぞれの移動手段を組み合わせるよう、多様な関係者が連携、協働するモビリティ・マネジメント、観光、まちづくり、環境など多様な観点の施策を推進し、利便性が高く持続的な都市交通の利用環境を構築していきます。

拠点への機能の集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成

それぞれの拠点の特性に応じた日常生活に必要な機能の集約や地域内外への移動支援、乗り継ぎ利便性の向上などモビリティ(移動のしやすさ)の改善により持続的で魅力ある地域を形成していきます。

公共交通機関のシームレス化の推進

キャッシュレス決済の推進やMaaS(Mobility as a Service)の充実により、日常生活、観光などでより効率的、便利に移動できる環境づくりを推進します。

新幹線開業後の変化を踏まえた公共交通の推進

令和6年春の北陸新幹線福井開業後、主要都市からの移動時間の短縮と交流人口の増加など開業後の変化による新たなニーズを踏まえた公共交通の施策を推進します。

(3) 対象区域

福井市全域

(4) 計画期間

5年間(令和6年度～令和10年度)

(5) 計画の対象

第2次福井市都市交通戦略で掲げた公共交通関連施策のうち、特に市内の移動を支えるすまいるバスを含めた路線バス、地域コミュニティバス、地域バス等に関する方針を設定します。

また、従来の公共交通だけでなく、必要に応じて自家用有償旅客運送や福祉、医療関連の移動サービス、送迎バス等の地域の各種輸送資源を総動員するものとします。

(6) 計画目標と評価指標の設定

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律で計画に定めるよう努めるものとする、

公共交通利用者数、公共交通事業の収支、公共交通への公的資金投入額のほか、目指すべき将来像を実現するための4つの施策パッケージについて、達成状況を評価するための指標とその目標値を設定します。

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

都市交通戦略での課題

課題1

人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人を呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2

北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3

「全域交通ネットワーク」の更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4

地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5

公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6

モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

1 選択性のある都市交通利用環境の構築

1 市域全体をカバーする地域公共交通網の形成

・東西幹線軸（鉄道、バス）の追加、維持・確保のための、行政による支援、及びバスの安定的な運営のための利用促進

・フィーダー交通の拡充

2 新しい時代を迎える地域鉄道とバスの連携

・地域鉄道の連携による利便性向上

・地域拠点、乗継拠点の駅での待合環境の充実

・利用者のニーズを考慮したダイヤ設定

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

・国・県との協調による、運行費やバス車両の更新等支援

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
生活交通バス路線等の欠損額に対する補助金交付	交通事業者、国、福井県、沿線自治体					

・経営努力が反映できるインセンティブ補助の創設

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
インセンティブ補助制度に基づく補助金交付	福井市、交通事業者					

・乗合タクシー・デマンド交通及び地域の多様な輸送資源による足の確保（超小型モビリティ、高齢者施設車両など）

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域住民の共助を前提とした輸送活動の取組みを支援し、学生、高齢者などの日常の移動手段の確保	交通事業者、福井市、地域住民					

・バスや電車の乗り継ぎなど、利用者ニーズに応じた運賃体系(企画乗車券等含む)の見直し

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井鉄道、えちぜん鉄道勉強会の継続開催による検討継続	交通事業者、福井県、沿線自治体				(更新予定)	(更新予定)

・地域拠点や乗継拠点での駅での待合環境の充実

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
バスの時刻表など交通情報が表示されるデジタルサイネージ設置検討	交通事業者、福井市、民間事業者					

・利用者のニーズを考慮したバスのダイヤ設定

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域鉄道間、各フィーダ 交通間の接続調整	交通事業者					

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

都市交通戦略での課題

課題1

人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人を呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2

北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3

「全域交通ネットワーク」の更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4

地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5

公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6

モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

1 選択性のある都市交通利用環境の構築

3 フィーダー交通の効率的配置による地域内移動手段の確保と利便性向上

・フィーダー交通の見直し（フルデマンド化や効率的な路線の統廃合等）

・生活の足を確保するための超小型モビリティ、自動運転車両等の研究

・公共交通空白地域、不便地域におけるタクシー（一般）活用の推進

4 市中心部のバス路線網の見直し

・すまいるバスのダイヤ・ルートを含めたバス路線網の効率化

・見直し路線における路線バスの基準を踏まえた運賃の適正化

・福井駅周辺でのお買い物と連動した公共交通利用促進策の検討

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

・フィーダー交通再編による路線の効率化

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
フルデマンドタクシーや福祉車両を活用するなど、地域の特性に合ったフィーダー交通の導入方針を検討	交通事業者、福井市、地域住民					

・地域コミュニティバス、地域バスにおけるサービス水準に基づく路線等の見直し

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
フィーダー交通におけるサービス水準(1便あたりの利用者数)整理し、見直しを図る。	交通事業者、福井市					

・乗合タクシー・デマンド交通及び地域の多様な輸送資源による足の確保（超小型モビリティ、高齢者施設車両など）【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域住民の共助を前提とした輸送活動の取組みを支援し、学生、高齢者などの日常の移動手段の確保	交通事業者、福井市、地域住民					

・自動運転車両等の継続的な調査・研究

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
先進自治体の調査・研究	福井市、地域住民、交通事業者、民間事業者、教育機関等					

・公共交通空白地域、不便地域におけるタクシー車両活用の推進

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
公共交通空白地域、不便地域における配車アプリ、タクシー車両活用の推進	交通事業者					

・すまいるバスの需要を踏まえた運行計画の変更による利便性の向上

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
すまいるバスアンケートの結果を元に、沿線住民及び利用者の意向に沿ったルート・ダイヤとなるよう協議を継続	交通事業者、福井市					

・すまいるバスの運賃の適正化

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
他の路線バス、鉄道運賃との整合性を図るなど、利用者にとって分かりやすい運賃体系となるよう協議を継続	交通事業者、福井市					

・福井駅周辺でのお買い物と連動した公共交通利用促進策の検討実施

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井駅西口地区の商店街及び交通事業者と連携し、参加店舗で一定額のお買い物をした人に対し、公共交通期間で利用できる運賃補助券発行	交通事業者、民間事業者、福井市					

1. 福井市地域公共交通計画骨子案について

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

都市交通戦略での課題

課題1 人口減少・高齢化への対応と 自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2 北陸新幹線福井開業へ向けた 公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応
する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による
維持存続

課題3 「全域交通ネットワーク」の 更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の
目指すべき公共交通サービス水準の
維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した
公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4 地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5 公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入
検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6 モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体
と協働した働きかけによる利用者の
意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

1 選択性のある都市交通利用環境の構築

5 公共交通を維持するための取組み

- 通勤通学時の公共交通利用のPR（学校、企業等）

- 地域毎での「目的地」への地域の公共交通活用パンフレット等の作成

- 電車・バス・タクシーに関わる人材確保

- 駅周辺でのイベント等の開催

- 商業施設、公共施設等との連携による公共交通の利用促進

- 高齢者等への公共交通機関の利用方法の周知による外出機会の創出

- 交通事業者による認知症サポーター養成講座受講の推進

- 免許返納に関する啓発や支援による高齢者の運転免許自主返納の促進

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

- 通勤通学時、日常生活における公共交通の利用促進、PR実施

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
小学校出前講座、カーフリーデーふくい、介護予防教室での交通系ICカードの利用促進、周知、乗車体験	福井県、福井市、交通事業者、市民団体、民間事業者					

- 交通系ICカードの利用促進・周知

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
交通系ICカードの利用促進、周知、乗車体験	福井県、福井市、交通事業者、市民団体、民間事業者					

- 地域毎の公共交通活用パンフレット作成支援

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域での公共交通活用パンフレット作成	地域住民、福井市、交通事業者、教育機関等					

- 公共交通を支えるバス運転士などの確保

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
運転体験や採用説明会の実施等により、公共交通を提供する人材確保の継続的な取り組み	交通事業者、国、福井県、福井市					

- ハピリンを核とした中心市街地のにぎわい創出のためのイベント開催支援

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
ハピリン組合、ハピリンモール等の事業者が実施する、中心市街地のにぎわい創出のためのイベント開催支援	市民団体、民間事業者、交通事業者、福井市、教育機関等					

- 商業施設とタイアップしたバス利用促進事業の実施

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井駅西口地区の商店街及び交通事業者と連携し、参加店舗で一定額のお買い物をした人に対し、公共交通期間で利用できる運賃補助券発行	交通事業者、民間事業者、福井市					

- 高齢者介護予防事業を活用したバス利用の促進による外出支援

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
介護予防教室での公共交通機関の交通系ICカード利用方法周知と公共交通機関等の外出体験をセットにした教室開催	福井市、交通事業者、地域住民、市民団体					

- 認知症サポーター養成講座受講による外出環境の整備

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
交通関連事業所へ認知症サポーター養成講座の受講の働きかけ	福井市、交通事業者、地域住民					

- 運転免許自主返納者に対する公共交通の利用助成や利用方法の講座の開催

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
運転免許を自主返納した満65歳以上の市民に対し、公共交通の利用助成、運転免許証自主返納証明書の交付、反射材の交付の支援	福井県、福井市、交通事業者、市民団体					

1. 福井市地域公共交通計画骨子案について

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

都市交通戦略での課題

課題1 人口減少・高齢化への対応と 自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2 北陸新幹線福井開業へ向けた 公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応
する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による
維持継続

課題3 「全域交通ネットワーク」の 更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の
目指すべき公共交通サービス水準の
維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した
公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4 地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5 公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入
検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6 モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体
と協働した働きかけによる利用者の
意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

1 選択性のある都市交通利用環境の構築

6 北陸新幹線福井開業に伴う交流人口(観光・ビジネス等)への対応

- 福井駅を起点とした市内外の観光地等と接続する交通手段、及び情報提供の充実
- 鉄道駅、路線バス乗り場における観光地への路線情報の充実(福井駅以外の駅等も含む)
- 福井駅等における地域鉄道、バス、タクシー乗場、観光案内所等へのサインの充実
- 公共交通を活用した地域の魅力を高める観光企画の充実

北陸新幹線福井開業に伴うMaaSの機能充実

7 道路交通の円滑化

- バスロケーションシステムの整備拡充
- バスナビによる運行情報の提供
- 路線バスの遅延分析と対策
- 運賃のキャッシュレス決済の導入検討

市内観光地等の交通手段の周知

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
主要駅から目的地(観光地)に向かう公共交通機関やシェアサイクル等をシームレスに繋ぐ、ふくいMaaSシステムを導入し、電子企画切符販売	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

主要拠点・観光地を結び交通手段の確保・支援

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井駅 一乗谷朝倉氏遺跡 永平寺間のダイレクトバスの運行	交通事業者、福井市、沿線自治体					

来街者、観光客に分かりやすい案内サインの充実

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井駅等における既設公共サインの情報更新	交通事業者、福井市					

公共交通を活用した地域の魅力を高める観光企画の充実強化

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
越美北線を活用したツアーの開催	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

鉄道・バスを乗り継ぐ周遊きつぷの企画作成

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
福井・永平寺エリアの二次交通と観光施設の入場券がセットになったお得なエリア周遊バス「福旅」販売	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

ふくいMaaSでの魅力的なデジタル切符の造成

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
主要駅から目的地(観光地)に向かう公共交通機関やシェアサイクル等をシームレスに繋ぐ、ふくいMaaSシステム導入	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

駅やバスターミナル、再開発エリアのデジタルサイネージ設置検討[再掲]

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
バスの時刻表など交通情報が表示されるデジタルサイネージ設置検討	交通事業者、福井市、民間事業者					

スマートフォンなどにおける路線バス位置情報のリアルタイム発信(GTFS-RT)

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
バスの走行位置情報等更新、維持管理	交通事業者					

交通系ICカード利用データ分析等による遅延対策等の実施

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
交通系ICカードの利用促進、周知、乗車体験	福井県、福井市、交通事業者、市民団体、民間事業者					

市内全路線への交通系ICカード導入検討

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域コミバス等へのキャッシュレス機器等導入費用支援	交通事業者、福井市					

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

都市交通戦略での課題

課題1

人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人を呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2

北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3

「全域交通ネットワーク」の更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4

地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5

公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6

モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

2 拠点への機能の集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成

1 地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等

- 地域拠点における観光振興のための既存施設の有効活用 (越前海岸：越廼地区)

2 地域拠点等におけるモビリティ(移動のしやすさ)の改善

- フィーダー交通の見直し(フルデマンド化や効率的な路線の統合等)

- パーク&ライド(バスライド)駐車場、サイクル&ライド(バスライド)自転車駐車場、待合環境の整備、及び支援
- 既存施設を利用したパーク&ライド(バスライド)駐車場、サイクル&ライド(バスライド)自転車駐車場や待合環境の整備、及び支援
- バスロケーションシステムの整備拡充
- 鉄道駅、拠点における基幹バス停、パーク&ライド駐車場や乗継情報等の見える化に向けた環境整備

3 まちなかを快適に回遊できる環境の構築

- 案内サインの充実(サインの設置・整備、デジタルサイネージの整備等)

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

・地域拠点のモデル施策検討に合わせた公共交通手段の検討

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
ワークショップ、社会実験の結果を踏まえ、これからの拠点の在り方について検討	福井市、地域住民、民間事業者、市民団体等					

・フィーダー交通再編による路線の効率化【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
フルデマンドタクシーや福祉車両を活用するなど、地域の特性に合ったフィーダー交通の導入方針を検討	交通事業者、福井市、地域住民					

・地域コミュニティバス、地域バスにおけるサービス水準に基づく路線等の見直し【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
フィーダー交通におけるサービス水準(1便あたりの利用者数)整理し、見直しを図る。	交通事業者、福井市					

・乗合タクシー・デマンド交通及び地域の多様な輸送資源による足の確保(超小型モビリティ、高齢者施設車両など)【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域住民の共助を前提とした輸送活動の取組みを支援し、学生、高齢者などの日常の移動手段の確保	交通事業者、福井市、地域住民					

・駅やバスターミナルなどの利用環境整備

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
便利で快適な公共交通機関の利用環境の整備に係る交通事業者、企業、自治会等の主体的な取組支援	交通事業者、福井市、民間事業者					

・駅やバスターミナル、再開発エリアのデジタルサイネージ設置【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
バスの時刻表など交通情報が表示されるデジタルサイネージ設置検討	交通事業者、福井市、民間事業者					

・駅やバスターミナル、再開発エリアのデジタルサイネージ設置【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
バスの時刻表など交通情報が表示されるデジタルサイネージ設置検討	交通事業者、福井市、民間事業者					

(7) 計画の目標を達成するために行う施策

都市交通戦略での課題

課題1
人口減少・高齢化への対応と自動車依存からの脱却

まちなか地区へ人を呼び戻す
高齢者の免許返納支援
自動車依存からの脱却

課題2
北陸新幹線福井開業へ向けた公共交通の充実

増加する観光・ビジネス交通に対応する公共交通の利用環境整備・向上
並行在来線の利便性向上、地域による維持存続

課題3
「全域交通ネットワーク」の更なる充実

中心市街地と地域拠点間や地域毎の目指すべき公共交通サービス水準の維持・確保
路線バスやフィーダー交通を活用した公共交通空白地域への対応
環境にやさしいまちづくりへの貢献

課題4
地域拠点、乗継拠点の整備

地域拠点、乗継拠点の整備
交通結節点としての機能強化

課題5
公共交通利用環境の向上

キャッシュレス化、MaaSの導入検討
待合環境の改善
バスの定時性確保
市中心部の適正なバス路線の配置
公共交通の担い手の確保

課題6
モビリティ・マネジメント

NPOや交通事業者などの多様な主体と協働した働きかけによる利用者の意識改革

都市交通戦略策定後の変化を踏まえた施策パッケージ (赤字は変更点)

3 公共交通機関のシームレス化の推進

1 運賃のキャッシュレス決済の推進
・運賃のキャッシュレス決済の推進

2 MaaS (Mobility as a Service) の充実
・北陸新幹線福井開業に伴うMaaSの機能充実
・AIオンデマンドタクシー、及びアプリの導入・普及
・日常生活型MaaSの機能充実
・ふくい嶺北連携中枢都市圏全体でのMaaSによる交通システムの構築

新幹線開業後を踏まえた新たな施策パッケージ

4 新幹線開業後の変化を踏まえた公共交通の推進 新設

1 目的地への移動時間自体を楽しめる仕掛けづくり

2 市内路線バスにおける人と環境に優しい交通手段の推進

計画実施施策(案) (赤字は本計画で新たに実施する施策)

・市内全路線への交通系ICカード導入検討【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
地域コミバス等へのキャッシュレス機器等導入費用支援	交通事業者、福井市					

・ふくいMaaSでの魅力的なデジタル切符の造成【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
主要駅から目的地(観光地)に向かう公共交通機関やシェアサイクル等をシームレスに繋ぐ、ふくいMaaSシステム導入	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

・AIオンデマンドタクシー導入及び利用促進

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
既存のフルデマンドタクシーの利用促進・周知、他地区への導入検討	交通事業者					

・ふくいMaaS機能の充実

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
デジタル回数券、定期券、医療機関予約を含めたルート表示	交通事業者、ふくい嶺北連携中枢都市圏の各市町、福井県等					

・市内路線バス等の移動時間自体を楽しめる仕掛けづくりの検討

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
人気声優によるすまいるバス北ルートの中継放送更新とすまいるバス南、東、西ルートで、それぞれ別の人気声優による中継放送	福井市、交通事業者					

・ふくいMaaSでの魅力的なデジタル切符の造成【再掲】

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
主要駅から目的地(観光地)に向かう公共交通機関やシェアサイクル等をシームレスに繋ぐ、ふくいMaaSシステム導入	交通事業者、民間事業者、福井市、福井県					

・市内路線バスにおける人と環境に優しい交通手段の導入検討

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
EVバスなど環境に優しい車両の導入検討 ノンステップバス未導入の路線バスに対する設置支援	福井市、福井県、国、交通事業者、民間事業者等					

・貨客混載輸送の検討

具体的事業	実施主体	R6	R7	R8	R9	R10
先進自治体の調査・研究	交通事業者、福井市、運送事業者					

(8) 計画の達成状況の評価に関する事項

1) 計画の推進体制

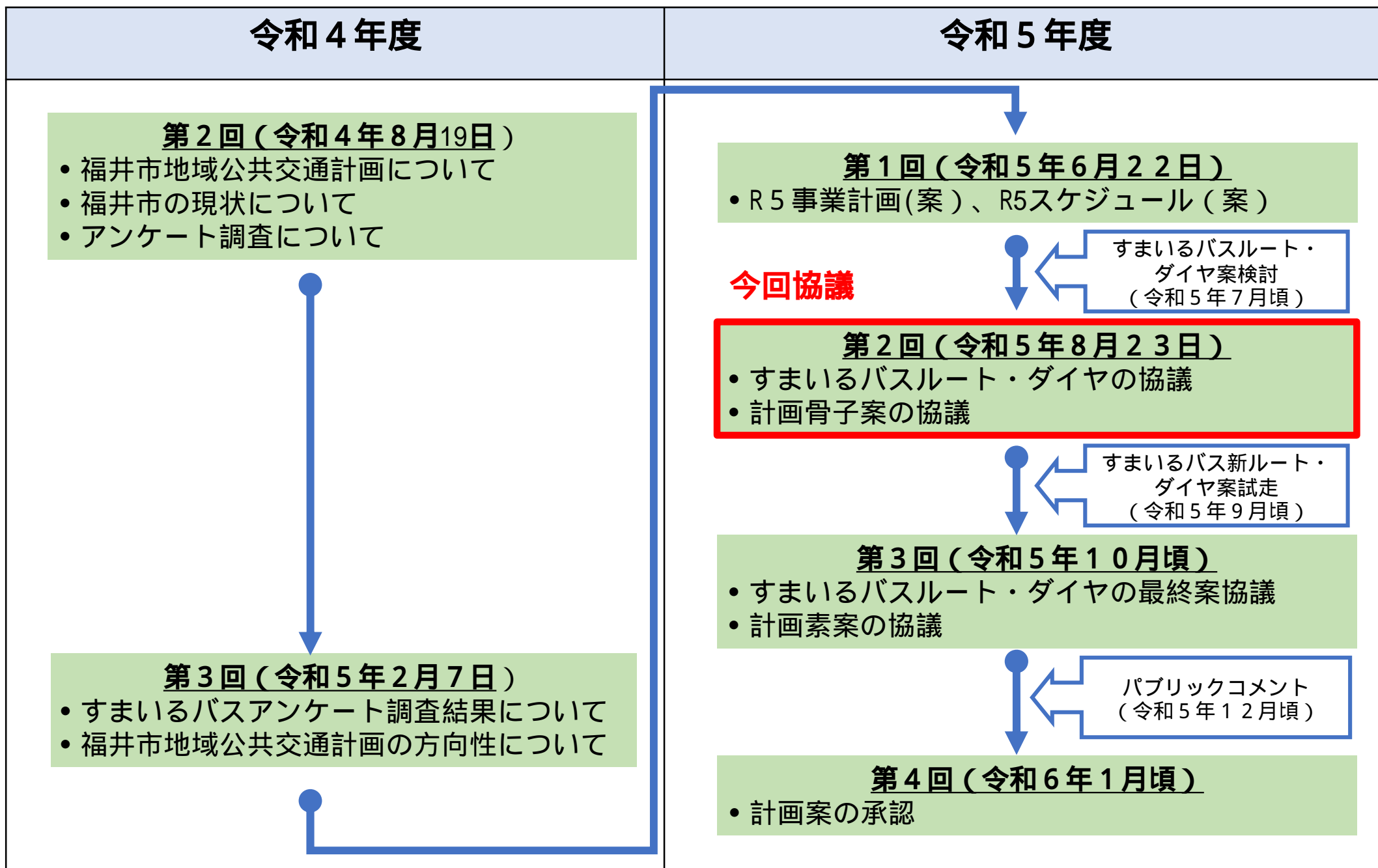
計画の施策を推進するため、行政、学識経験者、交通事業者、市民等の施策の実施主体で構成される「福井市地域生活交通活性化会議」によって、協力体制を構築し、着実な施策展開を図ります。

また、戦略の策定や戦略の実施に関する協議等を行う既存組織である「福井市都市交通戦略協議会」と連携し、施策の進行管理、効果検証を実施するとともに、必要に応じて計画の見直しに取り組むものとします。

2) 計画の進行管理

福井市地域公共交通計画は、施策の推進や定期的な計画見直しのため、福井市地域生活交通活性化会議のもとPDCAサイクルによる進行管理を行い、必要に応じて市民とのコミュニケーションを図り、目標の実現に向けて取り組みます。

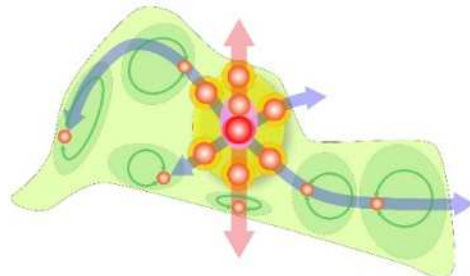
PDCAサイクルの実施においては、計画の策定「P」、計画の実施「D」、計画の評価・検証「C」及び計画の見直し「A」については、戦略の進行管理と連携していきます。



1 交通まちづくりの方針(第2次都市交通戦略で定めた将来都市像)

人にやさしい「全域交通ネットワーク」と
にぎわいとやすらぎの「まちづくり」

将来都市像の概念



安全に安心して快適に日常生活が過ごせる「地域拠点」

地域住民の身近な生活空間の中心で日常生活を支える医療、福祉、商業、行政サービス等の施設が集積しており、公共交通幹線軸による市中心部への移動の利便性が高く、フィーダー交通が接続し、自動車や自転車等からの乗継機能のあるエリア

各種交通モードを乗り継げる「乗継拠点」

主要な駅・バス停、病院、商業施設など公共交通相互や自動車、自転車等からの乗継に適した機能のあるところポイント

地域区分	地域拠点	乗継拠点
中心市街地	福井駅周辺(総合交通結節点)	
都市機能誘導区域	田原町駅周辺	福井口駅
周辺	鉄道沿線地区	新田塚・ハツ島駅周辺 越前開発・越前新保駅周辺
	街地	ベル前駅周辺 森田駅周辺 Aコープやしろ店周辺 パリオ周辺
農山村地域	鉄道沿線地区	越前東郷駅周辺 福井医療大学周辺 清水健康管理センター周辺
	浅水駅周辺 越前公民館周辺 美山駅周辺	福井県立病院 福井赤十字病院 越前花堂駅 福井厚生病院 エルバ(フェアモール福井) 平和堂フレンド마트開発店 MEGAドン・キホーテ UNY 福井店 テクノポート福井周辺 福井総合病院 福井県済生会病院

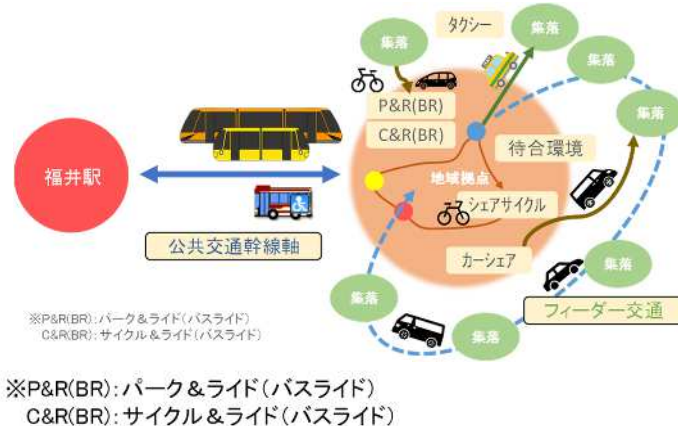
2 計画の方針

地域をつなぐ「全域交通ネットワーク」づくり
～暮らしをつなぎ支えるモビリティ・ネットワークの構築～

モビリティ(移動しやすさ)を支える環境づくり

拠点の特性を活かした機能の集約とフィーダー交通等の提供

自動車交通から公共交通への緩やかなシフト



福井市地域公共交通計画施策パッケージ(戦略策定後の変化及び新幹線開業後を踏まえた施策)

< 1 > 選択性のある都市交通利用環境の構築

様々な移動手段を選択できる環境の整備のため、多様な関係者が連携、協働するモビリティマネジメント、観光、まちづくり、環境などの多様な観点の施策を推進し、利便性が高く持続的な都市交通の利用環境を構築

市域全体をカバーする地域公共交通網の形成

新しい時代を迎える地域鉄道とバスの連携(都市交通戦略から変更)

フィーダー交通の効率的配置による地域内移動手段の確保と利便性向上

市中心部のバス路線網の見直し

公共交通を維持するための取組み

北陸新幹線福井開業に伴う交流人口(観光・ビジネス等)への対応

道路交通の円滑化

< 2 > 拠点への機能の集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成

それぞれの拠点の特性に応じた日常生活に必要な機能の集約や地域内外への移動支援、乗り継ぎ利便性の向上などモビリティ(移動のしやすさ)の改善により持続的で魅力ある地域を形成

地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等

地域拠点等におけるモビリティ(移動のしやすさ)の改善

まちなかを快適に回遊できる環境の構築

< 3 > 公共交通機関のシームレス化の推進

キャッシュレス決済の推進やMaaS(Mobility as a Service)の充実により、日常生活、観光などでより効率的、便利に移動できる環境づくりを推進

運賃のキャッシュレス決済の推進(都市交通戦略から変更)

MaaS(Mobility as a Service)の充実(都市交通戦略から変更)

< 4 > 新幹線開業後の変化を踏まえた公共交通の推進 新設

令和6年春の北陸新幹線福井開業後、主要都市からの移動時間の短縮と交流人口の増加など開業後の変化による新たなニーズを踏まえた公共交通の施策を推進

目的地への移動時間自体を楽しめる仕掛けづくり

市内路線バスにおける人と環境に優しい交通手段の推進